

施策評価調書(25年度実績)

施策コード I-6-(3)

政策体系	施策名	食の安全・安心の確保	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	57
	政策名	安全・安心な暮らしの確立	関係部局名	生活環境部、農林水産部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	食の安全・安心確保対策の推進	安全・安心な農林水産物の生産・流通管理システムの構築	食品関連事業者などに対する衛生管理体制の強化

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		25年度			26年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	食のリスクコミュニケーションの開催回数(回/年)	①	H16 11	60	60	100.0%	60	60						
ii	GAP実践農家数(戸)	②	H21 5,014	7,000	7,440	106.3%	7,500	8,000						
iii	食中毒発生件数(直近3年間の平均)(件/年)	③	H16 7	7	5.7	118.6%	7	7						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i	達成	各地で消費者や学校関係者、小売店、宿泊施設、福祉施設等の職員を対象に対話型講習会を開催し、理解増進に努めた。		達成
ii	達成	GAP導入を指導できる普及指導員の養成研修実施や、GAP導入に取り組む生産者組織等への支援によりGAP導入戸数が増加し、目標を達成した。		
iii	達成	食中毒発生件数は、目標値を達成したが、敬老会の弁当で大規模な食中毒が発生した。		

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・製造・小売業者等の食品表示に関する知識を高めるため食品適正表示推進者研修を実施するとともに、食品偽装表示にかかる取締まりを行った。
②	・普及指導員による振興局単位での普及啓発やGAP導入指導により、基礎GAPから普及GAPに移行する農家や標準GAPを取得する農家が増加しており、生産者組織等のGAPへの取組意識高揚が図られつつある。
③	・焼肉由来の食中毒が全国的に多発していることから、焼肉店を対象に蛍光色素を使用したわかりやすい講習会を開催し、衛生対策の普及を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	食の安全・安心推進事業	14,883	継続	95
②	GAP普及拡大推進事業	12,243	終了	154

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○食品安全推進県民会議 (H25. 6.7)</p> <p>・GAP(農業生産工程管理、Good Agricultural Practice)をしていなければ安全・安心とは言えない。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・対話型講習会などは継続実施する事で信頼感が高まるため、今後も引続き実施していく。 ・食肉の生食による危険性や食品の取扱いについて業者へ指導するとともに、消費者に対しても正しい情報を提供し食の信頼を高めていく。 ・戦略品目の部会等に対しては普及GAP以上のGAP導入を図る。また、生産部会等のGAP団体認証取得を指導できる人材を育成することで、GAP導入を更に推進していく。